

《ワシントン大学短期留学についての報告》

札幌校 教員養成課程 基礎学習開発専攻
英語グループ 2年 富野千咲

◆3週間の留学を終えて

今回の留学は私にとって初めての海外経験だったので出発前は不安でいっぱいでしたが、言葉では表せないほど充実した3週間を過ごせました。本当に行ってよかったと思います。

たった3週間なので飛躍的な英語力の向上ということにはならないのですが、英語漬けの毎日なので、留学前に比べると英語が聞き取れるようになりました。今まで学校でやってきたように机に向かって勉強するよりも実際に英語漬けの生活に身を置いたほうが、英語力が高まるということを感じました。

◆大学での授業について

大学での授業は10～15人程度の少人数のクラスで行われていました。このクラスは初日のオリエンテーション内でのSpeakingとListeningのテストで分けられたものです。

当たり前ですが、授業はすべて英語で行われます。私のクラスは全員日本人のクラスだったのですが、先生からの指示で授業中は日本語を使わないことになっていました。授業内容は発音やネイティブならではの言い回し・単語の学習を通じてフォーマルではなく日常的な会話スキルの上達を目標としたものになっていました。授業中の雰囲気は全く堅苦しいものではなく、クラスみんなで話をしたり先生からの質問に答えるだけでなく、映画(Sleepless in Seattle)を見たりもして楽しみながら勉強できました。しかしただ楽しいだけではなく、最後の授業では社会的なテーマについて、現地の人へのインタビュー結果をもとにしてプレゼンをしました。先生がEFLを留学生に教えている方だったので、会話中に英語でうまく表現できないときがあっても、私の考えを汲み取ってくれ正しい表現を教えてくださいました。クラスのみんな、先生からたくさん支えてもらったからこそ3週間頑張れたのだと思います。



《大学図書館》



《クラスのみんなと》

◆

大学の授業は午前中で終わります。放課後は週に2回、大学の方がシアトル近郊を案内してくれるアクティビティがあり、ダウンタウンやフリーモント、ベルビュースクエアモールなどへ行くことができました。それ以外の平日の放課後・休日は各自で自由に過ごせることになっていたため、友達と海上タ

クシー（小さいフェリー）でビーチへ行ったり、マリナーズの試合観戦をしたり、書ききれないほどいろいろなことを体験できました。

カナダやポートランドなど遠くへ行くならば、あらかじめガイドマップなどを読んで、行き方・予算などをチェックしておくとういと思ひます。私のクラスメイトはポートランドへ行っていたのですが、予定が曖昧だったために思うように行動できなかったと言っていました。



《セーフコフィールド》



《水陸両用バス Ride The Duck》

◆次回参加する人へのアドバイス

シアトルの気候はとても変わりやすく、朝はとても寒く雨がすごく降っていたのに昼過ぎには快晴になり、とても暑くなるといった日が多かったので傘や温かい上着は必須だと思います。私は裏がフリースのような生地のパーカーをよく着ていました。

町を歩くときに関して、シアトルはアメリカ国内では比較的治安が良い地域のように思いますが、それでもホームレスやドラッグをしている人を繁華街や大学周辺で何度も見かけ、とても怖かったです。そのような人から話しかけられても無視するべきだと同じ家にステイしていた中国人留学生から教えてもらいました。夜遅くには出歩かないほうが良いと思います。

個人的に、持って行ってよかったと思うものはティッシュ（ウェットティッシュも）です。アメリカのスーパーでも売ってはいるのですがとても高かったことと（1箱2ドルくらいでした）、ピザやハンバーガーを食べたあとに手がべたつくので持ち歩いていると使える場面が多いように感じました。



《Closing Ceremony で教育大のみんなと》



《担任の先生 Cindy と》